

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

# ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895  
FAX 098-863-1495

## 経営者への活きた言葉

### 日本は国の形をもう一度鍛え直す 三村 明夫 (新日鉄住金取締役相談役)

1. 「モノづくり」という言葉はソフトで、温かい使い方だが、モノを作るビジネス環境が整えられていないと、いかに匠の技があっても存在は難しい。私が危機意識を持っているのは、貿易赤字だ。2012 年度上期だけで 3.2 兆円の赤字だ。これが経常赤字に転落するかどうかだが、15 兆円の所得収支の黒字があれば、しばらく時間が稼げるだろう。その間に、日本にとってモノづくりの持つ意味をもう少し真剣に考えないといけない。資源も食料もない日本はこれまで、資源を加工して、それに付加価値をつけて、ずっと黒字を維持してきた。そのモノづくり立国の基本がいま崩れつつある。
2. 世界景気と日本の輸出の関係も気になっている。海外の景気がよくなっても日本の輸出が増えなくなっている。日本はこれまで不況から脱出するときは海外景気の回復がきっかけになっていた。日本が不況期に入りつつあるときに、海外景気が不況脱出のきっかけになってくれるのか、それは大きな疑問だ。
3. 日本が拠って立つ国の形をもう一度鍛え直さなければいけない。国際競争力のある産業がきちんと存在し、資源・エネルギー・食料を含め、物がリーズナブルな価格で安定的に入手できる環境があること。さらに、きちんとしたビジネスインフラがそろって、初めて加工貿易立国は存在する。

(参考:「週刊東洋経済」2012 年 12 月 29 日・2013 年 1 月 5 日号)

## ワンポイント経営アドバイス

### 障害者を雇用し年商 30 億円を目指す

1. 精神障害や発達障害に苦しむ人を積極的に雇いながら、利益もしっかり出す八百屋兼鮮魚店を営む青年がいる。小さい頃から経営者になるのが夢だったが、父親の経営する会社が倒産するのを目の当たりにし、単なる金儲けはむなしと感じた。事業は軌道に乗り始め 2 店舗目もオープンさせた。
2. 「八百鮮」(本社・大阪市、市原敬久代表取締役) という野菜と鮮魚を小売する商店がある。精神障害や発達障害のある人たちに働く場を提供、働く喜びをもって勤労意識を奮い立たせ、なおかつ生活者として自立の気概を生じさせている。障害者 4 人を含む従業員 11 人全員が市原社長とほぼ同じ給与額である。

(参考:「WEDGE」:2013 年 2 月号)

## 経営者のための経済学

### 急速な円安に潜む懸念

1. 東芝の佐々木則夫社長は、最近の円安について、「円安は望ましいが、できれば一気に進むのではなく、じわじわと進んでほしい」と話す。円高がこれからも長期化するという前提で、1 ドル=70 円でも利益の出る経営体質を目指し、海外からの部品や素材調達を増やしてきた。この結果、急激に円安になると対策が間に合わず、逆に利益を圧迫しかねないという状況になっている。
2. 長期間続いた円高へ、多くの企業が対策を積み重ねてきた。原発停止などの大きな環境変化を経た日本では、円高になれば企業の競争力が低下し、円安になれば、回復するという単純な図式が通用しにくくなっている。

(参考:「日経ビジネス」2013 年 1 月 14 日号)

## 古典に学ぶ

**お金の善し悪しは使う人によって決まる**「金はそれ自身に善悪を判別する力はない。善人がこれを持てば善くなる、悪人がこれを持てば悪くなる」(解説) お金自体には、よいお金、悪いお金という区別があるわけではない。善人が持てばよいお金、悪人が持てば悪いお金になるだけだ。お金を手にしたとき、それは、あなたの心が試されているときなのです。

(参考: 渋澤健「渋沢栄一 100 の訓言」) 日経ビジネス人文庫